

資料提供
 令和8年3月31日
 課名 健康危機管理課
 (感染症・疾病管理センター)
 担当者 片平
 電話(直通) 082-513-3068
 (内線) 3068

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和8年3月解析分)



フタトゲチマダニ

1 今月のトピックス

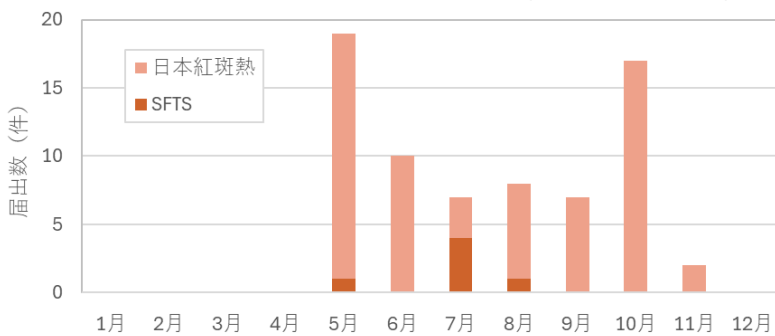
マダニによる感染症に注意しましょう

マダニは主に森林や草地などの屋外に生息しており、気温の上昇とともに活動が活発になります。そのため、県内では、例年4月頃からマダニが媒介する感染症*の発生の増加が確認されています。

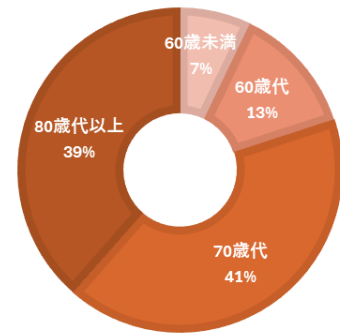
春になり、農作業・庭仕事・レジャーなど野外で活動する機会が増えますが、長袖、長ズボンの着用、忌避剤の使用等によりマダニに咬まれないよう注意しましょう。

*重症熱性血小板減少症候群や日本紅斑熱など、病原体を持ったマダニに咬まれることにより発症する感染症(すべてのマダニが病原体を持つわけではありません)

マダニが媒介する感染症の発生状況 (令和7年 広島県)



年齢別発生状況 (令和7年 広島県)



疾病名	潜伏期間	症 状		発生件数	
		初期症状	特 徴	R6年	R7年
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	6~14日	倦怠感 悪寒	消化器症状：食欲不振、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血 その他の症状：頭痛、筋肉痛、神経症状(意識障害、けいれんなど)リンパ節腫脹、呼吸器症状、出血症状(紫斑)	10	6
日本紅斑熱	2~8日	急な発熱 (38~40℃)	発疹：発熱の後にやや遅れて、四肢や体幹部に米粒や小豆大の紅斑(痛み・かゆみはないが手のひらにも出現) 刺し口：腹部や背部、外陰部、大腿部など隠れた部分に多い	73	64

■ 予防方法

野外活動時の服装に気を付けましょう(長袖、長ズボン、帽子、手袋、首にタオルを巻く等)。活動後は体や服をはたき、自身やペット(犬や猫等)にマダニがついていないか確認しましょう。

■ 吸血中のマダニを見つけたとき

無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置してもらいましょう。

■ マダニに咬まれた後に発熱等の体調変化があった場合

すぐに医療機関(内科・皮膚科など)を受診し、マダニに咬まれたことを医師に伝えてください。



詳しくは、広島県のホームページをご覧ください。

広島県 マダニ

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和8年2月分(令和8年2月2日~令和8年3月1日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	25,564	68.72	-	↗	11	突発性発しん	24	0.11	0.19	↗
2	インフルエンザ ※3	9,444	25.39	5.47	↑	12	ヘルパンギーナ	1	0.00	0.03	
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	334	0.90	-	↘	13	流行性耳下腺炎	1	0.00	0.01	
4	RSウイルス感染症	135	0.60	0.40	↗	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
5	咽頭結膜熱	73	0.33	0.48	→	15	流行性角結膜炎	53	0.70	0.61	→
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	521	2.33	1.22	↗	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
7	感染性胃腸炎	1,833	8.18	7.26	↗	17	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
8	水痘	47	0.21	0.07	↘	18	マイコプラズマ肺炎	31	0.39	0.12	↓
9	手足口病	3	0.01	0.16		19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	21	0.09	0.02	↓	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	8	0.10	0.00	

※1 R5年第19週(5/8~)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2~6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和8年2月分(2月1日~2月28日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
21	性器クラミジア感染症	55	2.50	2.89	↗	25	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	73	3.65	3.35	→
22	性器ヘルペスウイルス感染症	20	0.91	0.87	→	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0.00	0.03	
23	尖圭コンジローマ	14	0.64	0.59	↗	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.01	
24	淋菌感染症	16	0.73	0.94	↘	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患	インフルエンザ	(10.99 → 25.39)
○急減疾患	伝染性紅斑	(0.20 → 0.09)
	マイコプラズマ肺炎	(0.82 → 0.39)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内154の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1, 2, 3	1~13	14, 15	21~24	16~20, 25~27	
定点数	37	56	19	22	20	154

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	41	結核(41)[西部保健所(2)、東部保健所(7)、北部保健所(2)、広島市保健所(15)、呉市保健所(2)、福山市保健所(13)]
三類	6	腸管出血性大腸菌感染症(6)[東部保健所(1)、広島市保健所(3)、福山市保健所(2)]
四類	1	レジオネラ症(1)[福山市保健所(1)]
五類	49	アメーバ赤痢(2)[広島市保健所(2)]
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(7)[西部東保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(2)、呉市保健所(3)]
		急性脳炎(2)[広島市保健所(2)]
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)[広島市保健所(2)]
		侵襲性肺炎球菌感染症(4)[東部保健所(1)、広島市保健所(3)]
		破傷風(1)[広島市保健所(1)]
		梅毒(12)[東部保健所(1)、広島市保健所(7)、福山市保健所(4)]
百日咳(19)[西部東保健所(4)、広島市保健所(7)、呉市保健所(1)、福山市保健所(7)]		

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2026年2月28日 現在

分類	感染症名	発 生 件 数												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	25	41											66
	小 計	25	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66
三類	コレラ	0	0											0
	細菌性赤痢	0	0											0
	腸管出血性大腸菌感染症	17	6											23
	腸チフス	0	0											0
	パラチフス	0	0											0
	小 計	17	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
四類	E型肝炎	1	0											1
	A型肝炎	1	0											1
	エムボックス	0	0											0
	つつが虫病	0	0											0
	デング熱	0	0											0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0											0
	日本紅斑熱	0	0											0
	日本脳炎	0	0											0
	マラリア	0	0											0
	レジオネラ症	6	1											7
	レプトスピラ症	0	0											0
	小 計	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
五類全数	アメーバ赤痢	1	2											3
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く)	0	0											0
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	7											7
	急性弛緩性麻痺	0	0											0
	急性脳炎	0	2											2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0											0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	2											5
	後天性免疫不全症候群	1	0											1
	ジアルジア症	0	0											0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0											0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0											0
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	4											7
	水痘(入院例)	0	0											0
	破傷風	2	1											3
	梅毒	10	12											22
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0											0
	百日咳	23	19											42
	風しん	0	0											0
	播種性クリプトコックス症	0	0											0
	麻しん	1	0											1
小 計	44	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	93	
合 計	94	97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	191	

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

一類 :	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
二類 :	急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
三類 :	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
四類 :	E型肝炎、ウエストナイル熱、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、エムボックス(サル痘)、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
五類全数:	アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性脳炎、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症、百日咳、急性弛緩性麻痺

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和8年2月1日～3月19日

資料作成：令和8年3月25日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
180	189	102	49	38

2 四類感染症からの検出状況

検出無し。

3 五類感染症 急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの検出状況（別紙）

4 五類感染症からの検出状況（急性呼吸器感染症(ARI)として提出された検体の中に含まれていた患者の検査結果の再掲を含む）

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
急性脳炎	ヒトパルボウイルスB19	1	2	血液, 尿	R8. 2月	10	東部
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	7	7	鼻咽頭, 咽頭	R8. 2月～3月	5～68	西部東, 東部
	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2) +ヒトコロナウイルスOC43	1	1	鼻咽頭	R8. 2月	5	西部東
インフルエンザ	AH3型インフルエンザウイルス	2	2	咽頭	R8. 2月	5, 21	東部
	B型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルス	25	25	鼻咽頭, 咽頭	R8. 2月～3月	2～42	西部(広島), 西部東, 東部, 東部(福山)
	B型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルス +ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R8. 3月	43	東部(福山)
	B型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルス +ヒトコロナウイルスOC43	1	1	咽頭	R8. 2月	4	東部
	B型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルス +メタニューモウイルス	1	1	鼻咽頭	R8. 2月	13	西部東
	B型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルス +パラインフルエンザウイルス3型	1	1	鼻咽頭	R8. 3月	5	西部東
	B型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルス +パラインフルエンザウイルス4型	1	1	鼻咽頭	R8. 2月	3	東部(福山)
	ライノ/エンテロウイルス(鑑別予定)	1	1	鼻咽頭	R8. 3月	2	東部(福山)
RSウイルス感染症	RSウイルス NT	1	1	鼻咽頭	R8. 3月	0	西部東
咽頭結膜熱	アデノウイルスNT	1	1	咽頭	R8. 2月	5	西部東

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報（ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

◆広島県内の急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの流行状況（ひろしまCDCホームページ内）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

5 保健所別検査依頼受付状況（検体採取期間：令和8年1月1日～2月13日）

保健所地区	検体数	疾患名（検体数）
西部	1	ダニ類媒介感染症疑い(1)
西部(広島)	35	急性呼吸器感染症(ARI)(35)
西部(呉)	0	
西部東	60	ダニ類媒介感染症疑い(1), 麻しん(成人)疑い(3), 急性呼吸器感染症(ARI)(53), 咽頭結膜熱(1), 感染性胃腸炎(1), その他(1)
東部	56	ダニ類媒介感染症疑い(4), 急性脳炎・脳症(5), 急性呼吸器感染症(ARI)(36), 新型コロナウイルス感染症(8), インフルエンザ(2), 水痘(1)
東部(福山)	34	急性呼吸器感染症(ARI)(34)
北部	0	
福山市	0	
呉市	3	ダニ類媒介感染症疑い(1), デング熱疑い(2)

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスで検出されたウイルス（令和8年1月下旬～令和8年3月中旬）

報告週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週	計
	1/26～2/1	2/2～2/8	2/9～2/15	2/16～2/22	2/23～3/1	3/2～3/8	3/9～3/15	
検査患者数	23	25	22	20	22	21	25	112
陽性患者数	18	21	16	15	14	12	12	84
AH1pdm09型インフルエンザウイルス								0
AH3型インフルエンザウイルス	2							2
B型インフルエンザウイルス(ヒ7外ア系統)	9	11	9	7	5	5	2	41
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)		1				1		1
RSウイルス NT							1	0
RSウイルス A型				1				1
RSウイルス B型		3	1			1	1	4
パラインフルエンザウイルス1型								0
パラインフルエンザウイルス2型								0
パラインフルエンザウイルス3型				1		1		1
パラインフルエンザウイルス4型			1	2				3
ライノウイルス/エンテロウイルス							6	0
ライノウイルス	3	2	1	2	3	5	1	11
エンテロウイルスNT								0
メタニューモウイルス		1	1	1	1			4
アデノウイルスNT	2		1				1	3
ヒトコロナウイルスHKU1	1	1						2
ヒトコロナウイルスNL63		1	1	2	1		1	5
ヒトコロナウイルス229E							1	0
ヒトコロナウイルスOC43	5	3	5	3	4	1	2	20

※ 1人の患者から複数のウイルスが検出された症例が複数あります。